

1月13日（水）

本日はカンントリーレポートと、それに対するコメント・質疑応答が行われました。

ミャンマー、カンボジア、エジプト、マダガスカルのそれぞれの現状や問題などが報告され、それに対する質疑応答では COVID-19 による e-ラーニングに関する内容について活発に意見交換が行われました。e-ラーニングについては学生がオンラインでも楽しく学べる方法についての議論や、医学・薬学などのプロフェッショナル的な内容に関する分野の e-ラーニングの限界から、face-to-face も取り入れるハイブリッド教育システムについての言及もありました。

COVID-19 は新しい学習方式にシフトする重要な契機となったという共通認識があり、吉田先生からはこのような変化について、一時的なものと、今後の私たちの生活を変える持続的なものがあり、各国の状況に合わせて適切なメカニズムを効率的に導入する必要があるというコメントがありました。



このJICA研修もZoomによるオンライン実施であったため、参加者間の相互のやり取りの難しさがありましたが、このような制約の下でも声だけでなくチャットなどの手段も用いて、より多くの方が発言し、多様な意見を出し合い「活発な意見交換の場」にすることがオンライン教育の課題ではないかという意見が挙がりました。